

第9回 学校と協働するSTのための講座

『多様な子どもの見方、捉え方を学ぶ 当事者の状況を自ら体験して考える —結果よりもプロセスと成長を重視することが大切！—』

主催 一般社団法人 東京都言語聴覚士会（地域生活支援局 特別支援教育部）
共催 上智大学言語聴覚研究センター

日時：2024年 3月 2日（土）
13:30-16:45 （13:00より受付開始）

場所：上智大学 四谷キャンパス 6号館 302室（ソフィアタワー3階）
※大学正門より、構内立て看板の案内表示をご覧ください。

講師：**昼間 友彦 先生** 都立調布特別支援学校 主幹教諭
公認心理師 学校心理士 臨床発達心理士
名和 いづみ先生 言語聴覚士 外部専門員 発達支援センター

現在多数のSTが、外部専門員・訪問支援員などの立場でさまざまな学校と関わっています。学校生活の中で支援が必要な児童・生徒をどのように捉えるか、日々関わる先生方にどう助言するかは、思い悩むことも多いと思われれます。

今回の講座では、特別支援教育に深く携わる昼間友彦先生より、視覚認知や聴覚認知の多様さや人間特有の歪みについて実体験を通して学びます。人それぞれ見え方、聞こえ方が異なることを体験し、支援が必要な子どもたちの理解を深めたいと思います。さらに教員の立場から、現場の先生方の捉え方やSTとの関わり方などもお話しさせていただきます。

名和いづみ先生は、学校現場で直接教員と関わりながら子どもたちの支援をされています。教員とどのように情報を共有し、助言していくことが望ましいかも考えていきたいと思っています。

なお、今回は実習型講義のため現地開催のみとさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

参加費：東京都&各道府県の言語聴覚士会会員：500円
一般参加者（非会員）：3000円 学生：無料
※お支払いは、当日会場にて現金でお願いいたします。

定員：100名（定員になりしだい締切）

申し込み：以下Google formから受け付けます。

<https://forms.gle/W9SxfHXiju84hiao6>



※講座についてのお問い合わせは以下のアドレスへ直接ご連絡ください
gakko-st@st-toshikai.org（担当：黒田）